

中国派遣・報告

5月15日（日） 河北省石家庄市 着

5月16日（月） 午前8時40分

石家庄市疾病预防コントロールセンターにて担当者あいさつ

午前9時 会場移動（区センター）

午前9時15分 講演「高血圧予防、糖尿病予防について」

演者 津下センター長

対象者 一般住民及び医療従事者 35名

午後2時 会場移動（区センター）

午後2時35分 講演「生活習慣病予防の日本の取り組み」

演者 津下センター長

対象者 医療従事者 32名



※ 終日の様子 生活習慣病予防の取り組む意義、生活習慣病の発症原因、予防方法について説明。中国医療スタッフや一般住民も理解できた様子

5月17日（火） 午前9時

生活習慣病対策モデル地区式典



午前10時15分 会場移動

石家庄市疾病预防コントロールセンター（以下「CDC」）

午前10時35分 講演「生活習慣病予防の取り組み」
 演者 津下センター長
 対象者 CDCスタッフ（医療従事者） 60名

午後1時 講演「保健指導の具体的手法」
 演者 板倉 健康プラザ保健師
 対象者 CDCスタッフ（医療従事者） 45名

午後2時10分 講演「健康長寿あいちをめざして」
 演者 稲葉 健康対策課主幹
 対象者 CDCスタッフ（医療従事者） 45名

午後2時45分 講演
 「大学生のメタリックシンドローム予防事業」
 演者 川崎 健康対策課主査
 対象者 CDCスタッフ（医療従事者） 45名



※ 終日の様子 生活習慣病予防の取り組みを先駆的に実施するモデル地区式典及び区センターを見学。CDCスタッフに健康プラザで実施する生活習慣病予防の取り組みやその具体的手法、そして愛知県健康長寿への取り組みや大学生への調査などを講演する。

その後意見交換し、大学生への調査回収率等について質問がある。
 CDCスタッフ間においても意識の差があるように感じる。

5月18日（水）午前9時 生活習慣病予防への取り組みについてCDC医療スタッフとの意見交換

午後3時 生活習慣病予防への取り組みについて区センター責任者を加えての意見交換

※ 終日の様子 医療制度等異なるために生活習慣病予防の取り組みについて色々課題がある。しかし特定健康診査について中国側は興味を示す。

区センター責任者の中には、特定保健指導の指導方法が上手いかな

かった場合の責任の所在、医師やコメディカルとの指導内容の差について質問がある。また、参加しない人、クレーマーへの対応についても意見が交わされることから自己責任の考え方が日本とは異なることを理解する。

5月19日(木) 午前8時40分 会場移動(橋西小学校)
午前9時10分 あいさつ
午前9時20分 講演「生活習慣病予防について」
演者 大曾 健康プラザ管理栄養士
対象者 小学生24名及び教育関係者 112名
午後2時 会場移動(橋東小学校)
午後2時30分 あいさつ
午後2時35分 講演「生活習慣病予防について」
演者 大曾 健康プラザ管理栄養士
対象者 教育関係者 66名



※ 終日の様子 小学生に対する健康教育を実施。教職員が行う健康教育でなく専門家の立場で行う健康教育の流れや媒体について中国側の興味をひく。

5月20日(金) 午前9時 生活習慣病予防への取り組みについてCDC医療スタッフとの意見交換
午後3時 愛知県への来日視察内容について
10月25日(火)から11月2日(水)まで通訳含め8名
※10月26日(水)午後 愛知県庁訪問

※ 終日の様子 午前の意見交換では、対象者のやる気を引き出す方法や健康教育の評価方法等について質問あり。また日本の学校現場での健康教育に興味を示す。

地区組織活動(健康づくりリーダー、食生活改善推進員)など無いこ

とからその存在にも興味を示す。

午後は来日予定について意見交換。10月26日（水）の午後に愛知県庁にて健康教育に関する行政的な取り組みを講演する予定

5月21日（土）帰路

【石家庄市の概要】

管轄は、6区 12県 5政令市 ハイテクエリア1区からなる。

石家庄市疾病予防コントロールセンター（以下「CDC」）には、24区県にコントロールセンターの出先があり、出先は簡単な診療及び予防事業を実施している。

CDCは、事業企画、立案と技術支援を実施している。

CDC職員は、272名。

内訳は、専門スタッフ192名 うち6名（慢性疾患課職員）

2009年から中国全土において公衆衛生サービスが実施され、高血圧管理、糖尿病管理を重点的に石家庄市では実施している。

今後、住民の健康ファイルを作成し、管理していきたい。

現在の課題は、①如何に対象者に予防活動を呼びかけるか。

②対象者のやる気をおこすには、どのようにしたらよいか。